

≪阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業≫ 市民公開講座【報告書】			
行事名	市民公開講座		
開催日時	令和7年3月19日(水) 13:00~14:00	開催場所	大野公民館
対象者	大野・長生・加茂谷地区の住民		
参加人数	40名	報告者	湯浅
内容	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関及び介護事業所等の連携を推進していき、地域住民とともに考える機会を持ち普及啓発に努める。		

講義①		ACPIについて【もしもの時のために】	
講義内容	講師：湯浅祐司（阿南市在宅医療・介護連携支援センター センター長）		
	ACPIについてレジュメを用いて説明をした後に、もしもの時のためにの書き方や注意点を説明した。また、阿南市では「もしもの時のために」と「たまた箱」をセットとしての普及に努めていることを説明。ACPIによる感謝を頂いた事例を発表して、興味を持っていただき家族との共有に繋げた。また、在宅医療・介護連携支援センターの4つの場面について取り組んでいることを説明し、アンケートの協力を得た。		
講義②		ACPIについて【たまた箱（阿南市版）】	
講義内容	講師：橋本篤史（阿南西部高齢者お世話センター 管理者）		
	たまた箱の説明をした後に、実際に記入して不明点や隣の方と共有して楽しく学びを行った。特に今までの人生とこれからの人生を「漢字一文字で表す」では、様々な意見があり、発表を頂いた方の意見に拍手も起きた。		
まとめ			
今年度の出前講座として、阿南市のお世話センターに希望を募ったところ、阿南西部高齢者お世話センターより依頼があり実施を行った。阿南西部高齢者お世話センターの3職種及び予防プランナーの協力もあり40名の参加者で市民公開講座が開催できたことは良かった。 ACPIについて難しいという先入観があったが、実際にノートを見ながら説明や記入をすると案外簡単で、安心に繋がったとの意見が聞けた。また、このノートを家族と考えて書きたいとの発言もあり、もう一冊頂きたいと新しいノートを希望される方も多数いたことも良かった。 今後も出前型で地域に出向き、医療と介護の困りごとや意見を講座を踏まえながら、普及啓発に努めていく。			

【講座風景写真】

